

黒沢池近隣公園が全面オープン

大蛇の民話にちなんだ遊具も



▲この公園の目玉は黒蛇をデザインしたローラーすべり台。子どもたちは、思い思いの滑り方を楽しんでいました(5月5日撮影)

新川周辺地区都市再生整備計画の一環で整備され、4月14日にオープンした黒沢池近隣公園は、村上駅の南東500m、東葉高速鉄道の高架下にあります。コンセプトは「八千代のふるさと景観と黒沢池の再生」。従来の景観と地形を生かして設計され、かつて周辺の水田を潤す水源だった黒沢池が再生されました。池の中央には木道が掛かり、展望デッキからは黒沢池が見渡せます。傾斜地にはローラー滑り台とツリーハウスを組み合わせた大型複合遊具。かまどベンチやソーラー式照明など、災害時にも対応しています。公園のあちこちに描かれ、滑り台のデザインにもなっている黒蛇は、この地域に伝わる大蛇の民話がモチーフになっています。

今号の紙面から

- ◆財政診断報告書の概要……………2
- ◆公共施設再編に係る有識者会議から提言書が提出されました……………3
- ◆姉妹都市タイラー市から親善訪問団が来日します……………4
- ◆八千代市の水道……………5

募集

エコツアーの参加者

八千代市の水道水源のひとつである栃木県渡良瀬遊水地を見学し、水資源の有効利用について理解を深めます。また、「野田市こうのとり」の里「野田自然共生ファーム」を見学し、自然再生・生物多様性の復活など環境と経済の調和を図った街づくりについて学びます。先着35人。大型バスで行きます。

▼日時 6月24日(火)午前7時50分市役所集合、午後5時帰着予定 ▼持ち物 弁当、水筒、上履き。動きやすい服装でお越しください ▼参加費 一人400円(保険代・高速代・施設利用料) ▼申し込み 6月2日(月)13日(金)に、電話で環境政策室(483)1151へ (環境政策室)

募集

「人まかせにしないで」地震・災害からいのちを守る」の参加者

講師 神田織音おりねさんが、防災のあり方について震災を体験した女性の立場から講話を語ります。防災士による「避難所に行かなくても済む備え」の講演も。市内在住・在勤の人対象。先着100人。2~5歳児の保育あり(要予約、先着5人)。

▼日時 6月28日(土)午前10時~午後0時30分 ▼場所 八千代台東南公共センター ▼申し込み 電話か直接男女共同参画センター(485)6505へ (男女共同参画センター)

募集

家庭教育講演会「子どもの自立と子どもを支える3つの力」の参加者

子どもたちは、これから新しい環境の様々な場面で、人との関わりが増えていきます。その際、必要なのがコミュニケーション能力。思春期にコミュニケーション能力や良い親子関係が築ければ、その後の人間関係や環境への適応能力が高まります。講演ではコミュニケーション能力の高め方を学びます。小・中学生の保護者対象。先着150人。保育あり(先着15人。要予約) ▼日時 7月7日(月)午前10時~正午 ▼場所 総合生涯学習プラザ ▼申し込み 6月2日(月)午前9時から電話で生涯学習振興課(481)0309へ (生涯学習振興課)

災害廃棄物の回収を行っています

清掃センターでは、「八千代市台風災害特別給付金」の支給対象者を対象に6月30日(月)まで災害廃棄物の回収を行っています。回収日時や方法など詳しくは、同センター(483)4521へお問い合わせください。(清掃センター)